

香川薬学部

香川キャンパス

アドミッション・ポリシー

1 学部の求める人物像

今日の高度に専門化が進んだ医療に携わる薬剤師には、専門職として薬及び病気についての深い知識だけではなく、患者に寄り添う豊かな人間性と高い倫理観が強く求められています。先進的なチーム医療において「薬のスペシャリスト（専門職）」として貢献でき、病気の苦しみを理解して医療にあたることのできる薬剤師を養成します。知識、技能と医療の心を身に付け、地域に密着して活躍する薬剤師をめざすため次のような人を求めます。

- (1)意欲、探究心が旺盛で明朗な人。
- (2)医療に対して高い倫理観をもち、薬学分野で貢献したいという強い志をもつ人。

2 高等学校等で修得が望ましい内容

- (1)幅広い知識を構築する基礎科目に加え、薬学の基盤となる理系科目を修めていること。
- (2)文章の読解・作成等に必要言語能力、及び表現力を身に付けていること。
- (3)知識を総合的に関連づけて問題解決する能力を有すること。

3 入学試験の基本方針

2の修得が望ましい内容(1), (2), (3)の観点から総合的に判断します。一般入試、大学入試センター試験利用入試では、(1)の観点から、各教科の基礎が身につけていることを重視します。推薦入試では(1), (2)の観点に、AO入試では(2), (3)の観点に重点を置き、高い学習意欲と明確な目的意識を評価します。

面 談 型

面談・体験方法	連絡	エントリーシート受付後、本学 AO 入試担当者から、面談場所や日時についての相談、面談内容の説明の電話をします。
	面談	面談は二部構成となっており、原則として、香川薬学部に来ていただき、1日で行います。 第一部は「課題発表とそれに対する質疑応答」です。前もって「化学」や「生物」に関する課題を与えますので、それについて調べた結果をポスター等にまとめ、発表していただきます。質疑応答では、高校生レベルの「化学」や「生物」等の知識を問う場合があります。さらには、なぜ薬学部をめざすのか等、一般的な質問もこの第一部で行います。 第二部は「体験実習」です。簡単な「化学」または「生物」に関する実習を、教員の指導の下で行っていただきます。この第二部では、実験の意味を正確に理解し、予定通り実験が進められるか等を評価します。
学力把握方法	面談における口頭試問、及び調査書もしくは高等学校卒業程度認定試験合格成績証明書の成績を参考とします。	

入学前教育

大学生活にスムーズに馴染むことができるように、合格者全員に多彩な入学前サポートプログラム（eラーニング、通信添削等）を用意しています。

このプログラムに積極的に取り組んでください。さらに、本学部においてスクーリングを実施し、直接教員と面談する機会を設けています。これらの学習を通じて、入学後の初年次教育へ円滑に進めるようサポートします。